

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月10日

【四半期会計期間】 第16期第2四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社

【英訳名】 GungHo Online Entertainment, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長CEO 森下一喜

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内3丁目8番1号

【電話番号】 03-6895-1650

【事務連絡者氏名】 取締役CFO財務経理本部長 坂井一也

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内3丁目8番1号

【電話番号】 03-6895-1650

【事務連絡者氏名】 取締役CFO財務経理本部長 坂井一也

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第15期 第2四半期 連結累計期間	第16期 第2四半期 連結累計期間	第15期
会計期間		自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日
売上高	(千円)	4,580,447	7,137,715	9,607,947
経常利益	(千円)	923,803	1,091,895	1,545,172
四半期(当期)純利益	(千円)	901,357	1,080,567	1,657,750
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	1,133,525	1,086,756	1,276,623
純資産額	(千円)	10,630,278	11,894,666	10,794,796
総資産額	(千円)	13,812,952	15,454,580	14,200,995
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	7,841.91	9,401.06	14,422.62
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	7,828.36	9,386.52	14,398.20
自己資本比率	(%)	51.9	55.9	52.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	629,055	1,514,821	1,716,159
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	624,967	1,486,728	911,710
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	381,709	29,598	626,586
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	5,333,067	5,689,611	5,561,021

回次		第15期 第2四半期 連結会計期間	第16期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	3,238.56	7,417.98

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第15期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、当第2四半期連結累計期間において、Ingamba LLCの持分の全てを売却したため同社を持分法の適用範囲から除外しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等を行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響による低迷から、個人消費や公共投資などの内需が堅調に推移し、緩やかな回復軌道をたどっております。一方で、欧州債務問題の再燃や米国および中国経済の成長鈍化懸念など、先行き不透明な状況が継続いたしました。

当社グループを取り巻く環境は、平成24年5月に消費者庁から「コンプガチャ（ ）」が景品表示法の「絵合わせ」に該当するとの見解が発表されたことを受け、青少年を含むユーザーの皆さまが、安全な環境で安心してオンラインゲームを利用できるよう、業界各社においてゲームの改定や対応を図ってまいりました。一方で、インターネット利用端末であるスマートフォン、タブレット端末等は、その高機能化・多様化が進み、ますます市場は拡大することが予測されております。

コンプガチャとは、アバターやアイテムを出現させる仕組みの一つであるガチャを、ユーザーがある一定のルール等に従ったアイテムを全て集める（コンプリートする）と、レアアイテムが入手できるという仕組み。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、コンプリートガチャへの依存度は極めて軽微であり、対象となるゲームタイトルにおいてはその仕組みを全て廃止いたしました。一方で、2月にサービスを開始した「パズル&ドラゴンズ」におきましては、サービス開始直後から人気を博し、当連結累計期間中も堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高7,137,715千円（前年同四半期比55.8%）、営業利益1,019,054千円（前年同四半期比98.9%）、経常利益1,091,895千円（前年同四半期比18.2%）、四半期純利益1,080,567千円（前年同四半期比19.9%）となりました。

なお、報告セグメントの状況（セグメント間の内部取引消去前）は、以下のとおりであります。

PCオンライン事業

PCオンライン事業におきましては、今年も例年同様に当社の主力ゲームタイトルの日本一決定戦「Ragnarok Online Japan Championship 2012」を4月に開催し、来場者数は5,000人を越え、サービス開始から10周年を迎え、未だ安定した人気を誇っております。また、オリジナルタイトル「エミル・クロニクル・オンライン」においても、ゲーム内外でのイベントやキャンペーン等を積極的に実施し、新規ユーザーの獲得および既存ユーザーへのサービス拡充に努めてまいりました。

この結果、売上高は4,132,739千円、営業利益881,958千円となりました。

モバイルコンシューマ事業

モバイルコンシューマ事業におきましては、平成24年2月にサービスを開始したiPhone / iPod touch / iPad向け「パズル&ドラゴンズ」が好調に推移し、当第2四半期累計期間において90万ダウンロード

を突破いたしました。また、同タイトルは、5月に「モバイルプロジェクト・アワード2012」の「モバイルコンテンツ部門」で最優秀賞に、6月には「CEDEC AWARDS 2012」において「ゲームデザイン部門」の優秀賞を受賞するなど、業界団体からも高い評価を得ております。

この結果、売上高は3,132,253千円、営業利益542,752千円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,253,585千円増加し、15,454,580千円となりました。これは主に、2月にリリースしたスマートフォン向けゲームが堅調に推移したことにより、現金および預金が396,276千円増加および売掛金が621,201千円増加したことによりま

ず。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ153,715千円増加し、3,559,914千円となりました。これは主に、国内子会社による短期借入金が120,000千円増加したことによりま

ず。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,099,870千円増加し、11,894,666千円となりました。これは主に、四半期純利益を1,080,567千円計上したことによりま

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ128,590千円増加し、第2四半期連結累計期間末には5,689,611千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

< 営業活動によるキャッシュ・フロー >

営業活動によって得られた資金は1,514,821千円となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益1,012,542千円及び減価償却費1,095,286千円が含まれるためです。

< 投資活動によるキャッシュ・フロー >

投資活動によって使用された資金は1,486,728千円となりました。

これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出982,242千円が含まれるためです。

< 財務活動によるキャッシュ・フロー >

財務活動によって得られた資金は29,598千円となりました。

これは主に長期借入による収入40,000千円が含まれるためです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、231,618千円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	321,200
計	321,200

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	114,941	114,961	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注1)(注2) (注3)(注4)
計	114,941	114,961		

(注)1 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

2 単元株制度を採用していないため、単元株式数はありません。

3 発行済株式のうち24,308株は、現物出資(関係会社株式1,999,537千円)によるものであります。

4 「提出日現在発行数」欄には、平成24年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		114,941		5,331,384		5,324,072

(6) 【大株主の状況】

平成24年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
ソフトバンクBB株式会社	東京都港区東新橋1丁目9-1	38,744	33.70
株式会社ハーティス	東京都品川区西五反田2丁目6-3	21,308	18.53
アジアングループ合同会社	東京都千代田区神田淡路町1丁目1	16,671	14.50
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	4,195	3.64
森下 一喜	千葉県千葉市美浜区	1,510	1.31
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	1,292	1.12
株式会社サン・クロレラ	京都府京都市下京区烏丸通五条下る大坂町3 69番地	1,060	0.92
KeyLight株式会社	東京都港区赤坂9丁目5-12	1,000	0.87
バンク オブ ニューヨーク ジー シーエム クライアント アカウ ンツ ジェービー アールイー シー アイティーアイシー (常任代理人 株式会社三菱東京 UFJ銀行)	CITIGROUP CENTRE CANADA SQUARE CANARY WHARF LONDON E14 5LB, UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	875	0.76
ビーエヌワイエムエル ノン ト リーティー アカウト (常任代理人 株式会社三菱東京 UFJ銀行)	VERTIGO BUILDING-POLARIS 2-4 RUE EUGENE RUPPERT L-2453 LUXEMBOURG GRAND DUCHY OF LUXEMBOURG (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	656	0.57
計		87,311	75.96

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 114,941	114,941	権利の内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式
単元未満株式			
発行済株式総数	114,941		
総株主の議決権		114,941	

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,287,954	6,684,231
売掛金	1,244,614	1,865,816
有価証券	161,705	337,284
商品	22,139	32,950
仕掛品	192,952	21,877
その他	677,862	687,693
貸倒引当金	7,636	21,019
流動資産合計	8,579,591	9,608,834
固定資産		
有形固定資産合計	378,631	588,176
無形固定資産		
のれん	530,092	460,516
ソフトウェア	1,027,066	2,260,178
ソフトウェア仮勘定	2,382,251	1,095,704
その他	26,779	29,397
無形固定資産合計	3,966,190	3,845,797
投資その他の資産		
投資有価証券	82,218	68,018
長期前払費用	111,335	142,827
繰延税金資産	592,718	601,065
その他	647,152	759,059
貸倒引当金	156,842	159,198
投資その他の資産合計	1,276,582	1,411,772
固定資産合計	5,621,403	5,845,746
資産合計	14,200,995	15,454,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	310,764	237,872
短期借入金	-	120,000
1年内返済予定の長期借入金	132,554	138,471
1年内償還予定の社債	14,300	14,300
未払法人税等	536,355	535,516
賞与引当金	9,428	23,188
その他	1,627,703	1,671,359
流動負債合計	2,631,106	2,740,708
固定負債		
社債	14,250	7,100
長期借入金	228,906	193,587
退職給付引当金	81,719	81,363
長期前受収益	181,407	201,240
その他	268,809	335,915
固定負債合計	775,092	819,205
負債合計	3,406,199	3,559,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,331,384	5,331,384
資本剰余金	5,492,357	5,492,357
利益剰余金	1,723,264	642,697
株主資本合計	9,100,476	10,181,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	266
為替換算調整勘定	1,627,361	1,538,518
その他の包括利益累計額合計	1,627,361	1,538,251
少数株主持分	3,321,680	3,251,873
純資産合計	10,794,796	11,894,666
負債純資産合計	14,200,995	15,454,580

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,580,447	7,137,715
売上原価	1,419,077	3,058,595
売上総利益	3,161,370	4,079,119
販売費及び一般管理費	2,649,079	3,060,065
営業利益	512,290	1,019,054
営業外収益		
受取利息	65,478	66,013
負ののれん償却額	323,238	-
その他	56,143	45,713
営業外収益合計	444,859	111,727
営業外費用		
支払利息	7,031	8,431
持分法による投資損失	5,385	1,662
貸倒引当金繰入額	-	13,880
為替差損	12,018	9,389
その他	8,910	5,521
営業外費用合計	33,346	38,885
経常利益	923,803	1,091,895
特別利益		
投資有価証券売却益	190,761	-
関係会社株式売却益	-	46,415
特別利益合計	190,761	46,415
特別損失		
減損損失	41,865	125,769
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,758	-
特別損失合計	47,624	125,769
税金等調整前四半期純利益	1,066,940	1,012,542
法人税、住民税及び事業税	160,380	124,415
法人税等調整額	41,685	47,942
法人税等合計	118,694	76,472
少数株主損益調整前四半期純利益	948,246	936,069
少数株主利益又は少数株主損失()	46,889	144,498
四半期純利益	901,357	1,080,567

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	948,246	936,069
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,835	531
為替換算調整勘定	293,113	150,155
その他の包括利益合計	185,278	150,687
四半期包括利益	1,133,525	1,086,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	967,367	1,169,676
少数株主に係る四半期包括利益	166,157	82,920

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,066,940	1,012,542
減価償却費	355,774	1,095,286
減損損失	41,865	125,769
のれん償却額	63,652	77,545
負ののれん償却額	323,238	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	128	13,361
賞与引当金の増減額(は減少)	19,906	13,760
退職給付引当金の増減額(は減少)	10,492	1,689
持分法による投資損益(は益)	5,385	1,662
為替差損益(は益)	2,635	218
投資有価証券売却損益(は益)	190,761	-
関係会社株式売却損益(は益)	-	46,415
受取利息及び受取配当金	65,478	66,013
支払利息	7,031	8,431
売上債権の増減額(は増加)	140,475	616,118
たな卸資産の増減額(は増加)	253,337	10,540
仕入債務の増減額(は減少)	27,349	76,831
その他	133,896	41,861
小計	719,970	1,593,473
利息及び配当金の受取額	65,486	66,013
利息の支払額	6,989	8,431
法人税等の支払額	149,411	136,233
営業活動によるキャッシュ・フロー	629,055	1,514,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	962,000	1,263,147
定期預金の払戻による収入	481,000	834,347
有価証券の純増減額(は増加)	22,194	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	440,935	982,242
投資有価証券の売却及び償還による収入	336,045	-
長期前払費用の取得による支出	71,555	45,883
敷金及び保証金の差入による支出	-	97,538
敷金及び保証金の回収による収入	14,808	-
関係会社株式の売却による収入	-	64,508
その他	4,525	3,226
投資活動によるキャッシュ・フロー	624,967	1,486,728

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	233,300	120,000
長期借入れによる収入	-	40,000
長期借入金の返済による支出	-	69,402
社債の償還による支出	108,050	7,150
その他	40,359	53,849
財務活動によるキャッシュ・フロー	381,709	29,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	140,656	70,898
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	236,964	128,590
現金及び現金同等物の期首残高	5,570,031	5,561,021
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,333,067	5,689,611

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
1. 持分法の適用に関する事項の変更 当第2四半期連結累計期間において、Ingamba LLCの持分の全てを売却したため同社を持分法の適用範囲から除外しております。 2. 変更後の持分法を適用した関連会社の数 2社

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
販売費及び一般管理費の主なもの 給与手当 839,719千円	販売費及び一般管理費の主なもの 給与手当 916,462千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年6月30日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年6月30日現在)
現金及び預金 6,755,927千円	現金及び預金 6,684,231千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 1,422,860千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 1,304,155千円
現金及び現金同等物 5,333,067千円	有価証券勘定に含まれる預入期間が3ヶ月以内の譲渡性預金 309,535千円
	現金及び現金同等物 5,689,611千円

(株主資本等関係)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCオンライン 事業	モバイルコン シューマ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,149,134	431,313	4,580,447		4,580,447
セグメント間の内部売上高 又は振替高	52,233	39,516	91,749	91,749	
計	4,201,367	470,829	4,672,196	91,749	4,580,447
セグメント利益又は損失()	1,183,750	341,169	842,581	330,291	512,290

(注) 1. セグメント利益の調整額 330,291千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない
当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「PCオンライン事業」「モバイルコンシューマ事業」セグメントにおいて、それぞれゲーム資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は前第2四半期累計期間において、「PCオンライン事業」12,719千円、「モバイルコンシューマ事業」29,146千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PCオンライン 事業	モバイルコン シューマ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,074,455	3,063,260	7,137,715		7,137,715
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58,284	68,993	127,277	127,277	
計	4,132,739	3,132,253	7,264,993	127,277	7,137,715
セグメント利益	881,958	542,752	1,424,710	405,656	1,019,054

(注) 1. セグメント利益の調整額 405,656千円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない
当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「PCオンライン事業」「モバイルコンシューマ事業」セグメントにおいて、それぞれゲーム資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は当第2四半期累計期間において、「PCオンライン事業」29,047千円、「モバイルコンシューマ事業」96,721千円であります。

(1株当たり情報)

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	7,841円91銭	1株当たり四半期純利益金額	9,401円06銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	7,828円36銭	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	9,386円52銭

(注) 算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	901,357	1,080,567
普通株式に係る四半期純利益(千円)	901,357	1,080,567
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(株)	114,941	114,941
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	199	178
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要		

(重要な後発事象)

当社が平成19年12月28日付で売買契約を締結し、平成21年8月26日に投資事業有限責任組合オンラインゲーム革命ファンド1号へ譲渡したオンラインゲーム「グランディアオンライン」に関して、当社が同ゲームの商用化開始後も継続的な関与があることから、譲渡後も繰延べ処理されていた譲渡利益相当額(前受金、平成24年6月30日現在:382,950千円)は、平成24年8月6日付で発表した同ゲームのサービス終了(終了日:平成24年9月28日)に伴い、当社の同ゲームに対する関与が無くなることから、サービス終了日をもって当該前受金を全額取り崩し、同額を利益計上いたします。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月10日

ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中嶋康博 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 岸 信一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。